中村元記念館通信

二〇二一年三月発行
第十五号

祝 認定NPO法人になりました

中村元記念館は、令和二年四月に認定NPO法人の資格を取得致しました。

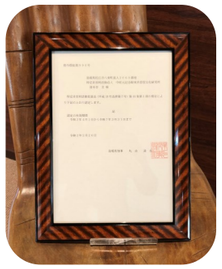
これまでの活動や組織運営が適正であり、多くの情報公開を行ったこと、皆様よりご支持を受けたことが認められました。（認定期間：令和二年四月一日～令和七年三月三一日まで）

認定NPO法人になったことにより、令和二年四月以降、当法人にご寄付をしてくださった方は、税制優遇を受けることができるようになりました。

認定NPO法人の資格更新には、毎年百人以上の方に三千円以上の寄付をしていただくことが条件となっています。

私たちは、認定NPO法人として、これからも中村博士の功績と理念を後世に伝えるべく、なお一層努めてまいります。

引き続き皆様のお力添えとご支援を賜



【 オンライン 】 はじめました！ NEW

東方学院松江校・中村元記念館文化講座 オンライン講義開始

リモート体験講座の様子

新型コロナウィルス感染拡大により、四月から、全ての講義を中止していましたが、九月より、オンラインによる講義を開始し、通常の講義も、状況を見ながら再開しています。

九月三日には、オンライン講座を体験していただくために、当記念館の清水谷理事長による、『オンライン リモート体験講座～観想行入門～』を開催しました。坐禅の時にも使われる手の組み方など、観想の実践もまじえながらの講義でした。

これを皮切りに、講座が続々と開講され、たくさんの方が受講されています。

中村元東洋思想文化賞 オンライン授賞式開催

十月三一日、第六回中村元東洋思想文化賞の授賞式が行われました。今年は、初めてオンラインでの開催となりました。優秀賞には、北海道大学大学院の 熊 征（ゆう・せい）氏の『六朝期における陶淵明評價 ―「古今隱逸詩人の宗」をめぐって』、奨励賞には、立正大学の石井 皐晶（いしい・たかあき）氏の『近代知識人の日蓮観 ―姉崎正治を中心に―』が選ばれました。授賞式の後には、優秀賞受賞者熊氏による、受賞記念講演「詩と哲学のあいだ ―六朝詩人の詩と思想について―」が行われました。

第六回中村元東洋思想文化賞は次の企業にご協賛いただきました。

◇山陰酸素工業株式会社様
◇堀田石油株式会社様
◇美保テクノス株式会社様

〒六九〇―一四〇四
島根県松江市八束町波入二〇六〇番地
FAX TEL （〇八五二）七六―九五九三
（〇八五二）七六―九六九三

2020年6月9日 ～ 8月2日

瓏 博道 作品展 第二弾 スケッチと水彩で描く「インド聖地巡礼の旅」（後期）

瓏（ながたに） 博道（ひろみち）さんの水彩画作品展の第二弾（後期）を、開催しました。

インドスケッチ旅行に行かれた作品に加え、ステイホーム中に描かれた新しい作品を中心に展示しました。展示は今回も大好評で、来場者の方へのオリジナル絵葉書のプレゼントも好評のうちに配布終了となりました。

2020年8月5日 ～ 12月27日

写真展「松江の白鳥 by ninjin（にんじん）」

松江在住のninjinさんが撮影された松江市の美しい自然の風景と白鳥の可愛らしい動作の一つひとつをおさめた写真展が開催されました。多重露光などの技法を使った幻想的な写真は大好評で、途中作品を入れ替えて、会期を延長しました。白鳥の写真の他、松江市の城下町や、宍道湖の写真などのポストカードの来場者の方へのプレゼントも好評でした。

2020年12月9日

大学連携事業 島根大学 学生視察

一二月九日、連携大学の島根大学法文学部東洋史専攻の学生が、佐々木愛先生引率のもと、一二名で視察されました。中には、チベット仏教や、学芸員の資格取得に関心を持つ学生もおられ、博士の資料を興味深く見ておられました。最後に、大塚山に歩いて行かれ、慈しみの碑も見学されました。今後も連携大学事業に力を入れていきます。

開催中 ～ 3月31日

写真展「ゴータマ・ブッダ聖地巡礼の旅」 ― 中村元記念館研修旅行の思い出 ―

記念館研修旅行で訪れた、インド・ネパールの写真展を記念館ロビーで開催中です。ゴータマ・ブッダの足跡を辿り、ブッダゆかりの仏蹟地を巡った旅行写真展です。自由に旅行することができにくい社会状況のなか、少しでも旅行気分を味わっていただけたら幸いです。

八束公民館 展示 中村元博士の

「八束複合施設」正面玄関東横の掲示板で毎月紹介している、中村元博士が残した『慈しみあふれる言葉』（一二か月分）の展示が、一二月、公民館一階の廊下で開催されました。中村博士が述べられた言葉の中から、当記念館学芸員が選び、公民館の「中央書道サークル」のメンバーが毛筆でしたためたものです。

今後も毎月掲示板に博士のことばが紹介されますので、どうぞご覧ください。

右から，
池田八束公民館長，
能海松江副市長，
清水谷理事長

発行／2021年3月　発行所／特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所

〒690-1404　島根県松江市八束町波入2060番地

TEL 0852-76-9593　FAX 0852-76-9693

■開館時間：10:00～17:30（入館は17:00まで）■入館料：無料

■閉館 日・月曜日，夏季休館

中村元記念館 Nakamura Hajime Memorial Hall 中村元記念館

松江市
R431
東出雲
東出雲駅
東出雲
東出雲
東出雲

研究員のコーナー

笠原　愛古

皆様ご無沙汰しておりますが、昨年の八月末をもって中村元記念館学芸員を離職いたしました。急なことで、その後も多忙に紛れ、この場をかりてのご挨拶となりましたことをお詫び申し上げます。今後は、研究員として協力させていただくことになろうかと存じますので、変わらずお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当初は記念館での研究成果を振り返る予定でしたが、諸事情により今回は本を紹介します。

最近の関心事で言えば、正月にある番組で紹介されていた“仏教経済学”の提唱者E・シューマッハーによる**『スモール・イズ・ビューティフル　人間中心の経済学』（講談社学術文庫、1986）**ですが、ここでは著者の唱える“仏教経済学”が「簡素と非暴力」を基調とし、「目的をいかにして最小限の手段で達成するかについて、組織的に研究する」学問であるとだけ記すに留めます。

さて今年の「大学入試共通テスト」では、文書記録の重要性について考えさせる問題が話題となりました。引用されたのは**『新版　歴史のための弁明　歴史家の仕事』（松村剛訳、岩波書店、2004）**（以下『弁明』）という著作で、著者のマルク・ブロックは、歴史学における比較の方法を提唱し、またレジスタンスとしての活動によってナチスの凶弾に倒れた歴史家でもありました。かつては“歴史は勝者が書くものだ”と言われ、それを取り扱う歴史学までもが政治に従属するかのように批判された時期がありました。ブロックの著作は、そうした「勝者」の史料だけでなく、国家権力の外にある「普通の人々」の日記や手紙という日々の記録から当時を理解しようとする社会史研究の先駆けともなりました。ここでは入門的な**『マルク・ブロックを読む』（二宮宏之、岩波現代文庫、2016）**と、オスロ大学（ノルウェー）での講演録**『比較史の方法』（講談社学術文庫、2017）**を挙げておきます。ブロックは当時イェール大学の朝河貫一教授とも交流があったことでも知られ、記念館には中村元博士の蔵書である『朝河貫一書簡集』が新聞記事とともに納められています。

『弁明』は、しばしば「パパ、歴史が何の役に立つのか教えてよ」という子供の言葉とともに紹介されますが、あえて中村元博士に範を求めるならば、**「だから、資料やそこに表されている歴史的現象の裏づけがなければ、いかにもっともらしい思弁的説明も、空想にすぎないということを明言したい。」**（『中村元選集[決定版]古代思想』春秋社、1998、18頁）ということになるでしょうか。

来年度も講義などで皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

二〇二一年度の 笠原 愛古先生の講義
「キリスト教世界の歴史と思想二〇二一」
四月二四日(土)より全六回、
オンライン講義にて開講いたします。

新しい学芸員のご紹介

学芸員　加藤　千乃（ゆきの）

九月より学芸員を務めさせていただいております。教育学部（音楽）、教育学の大学院（社会科教育・日本史）で学び、今まで学校司書、県の公文書管理業務、出版物校正等の仕事をしてきました。

中村元博士の蔵書、資料の整理・保存・研究を進め、博士の叡智をお伝えしていきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

山陰中央新報社様から寄付金を頂戴しました

二〇二〇年三月、山陰中央新報社様より、山陰中央新報一面連載「中村元 慈しみの心」の記事配信事業の収益のうち、十五万円を中村元記念館へご寄付いただき、松江市殿町の山陰中央新報社で贈呈式が行われました。

松尾倫男社長より寄付金を頂戴した清水谷理事長は、「温かいご支援を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。記念館を多くの人に知っていただけるように使わせていただきます。」と感謝の気持ちをお伝えしました。

中村博士が紹介したブッダの言葉などを伝える「慈しみの心」は、福井新聞と、徳島新聞に配信され、紙面を飾っています。

寄付者ご芳名　※日付順

中村元記念館の運営は、皆様からのご寄付によって支えられています。

令和2年3月～令和3年3月に中村元記念館へご寄付してくださった方のご芳名です。（令和3年3月10日までの入金確認分）
みなさまからの温かいご支援、心より御礼申し上げます。
※匿名希望の方につきましては掲載していません。
※ご寄付を頂戴した時点での、会社名・役職名となっております。
※しまね社会貢献基金を通じての記念館へのご寄付は、県の制度上記念館にお知らせいただいた方のみ記載しています。

【個　人】

小倉　勇　様
石田　良一　様
吉岡　七絵　様
川俣　三千子　様
野津　一成　様
大塚　鐵雄　様
籠　暁子　様
上野　幸美　様
前田　專學　様
渡邉　省三　様
山口　弘江　様
岡村　光展　様
坂下　昌利　様
山本　廣基　様
西村　アイ子　様
荒木　光哉　様
風間　富士子　様
槻宅　聡　様
北島　清秀　様
笠原　真弓　様
山本　芳郎　様
田中　英康　様
川瀬　清　様
柏木　英作　様
藤岡　大拙　様
清水　昭允　様
中村　祥江　様
清水谷　圭　様
門脇　功道　様
吉田　智晃　様
米田　良範　様
米田　良順　様
清水　成真　様
遠藤　善清　様
国本　厚行　様
竹谷　孝昌　様
島田　隆輔　様
中西　令子　様
遠藤　珠里　様
野津　寛美　様
清間　友子　様
矢野　可奈子　様
野津　健市　様
野津　典子　様
杉谷　泰孝　様
仁宮　美保子　様
仁宮　啓次　様

【団　体】

総本山 仁和寺　様（京都市右京区）
株式会社山陰中央新報社　様
創価学会　様
竹原市仏教講演会　様
宗教法人 清水寺　様（安来市清水町）
眞光寺　様（松江市奥谷町）
心身教育研究所　様
正蓮寺　様（出雲市下古志町）
浄土真宗本願寺派 明顕寺　様（出雲市今市町）
株式会社伸興サンライズ　様
真宗大谷派 法林寺　様（東伯郡湯梨浜町）
宗教法人 天王寺　様（東京都台東区）
清水寺　様（京都市東山区）
宗教法人 観音院　様（大分市大字千歳）
長寿寺　様（熊本市南区富合町）
一畑寺　様（出雲市小境町）
西福寺　様（邑智郡邑南町）
株式会社メディアスコープ　様
株式会社松文オフテック　様
松江土建株式会社　様
島根トヨタ自動車株式会社　様
念法眞教　様
島根電工 株式会社　様
株式会社 ミック　様
株式会社 太陽電機製作所　様
有限会社 酒の槙戸天狗堂　様
華蔵寺　様（松江市枕木町）
株式会社 谷口印刷　様
カナツ技建工業株式会社　様
宗教法人 園城寺　様（大津市園城寺町）
公益社団法人 日本弘道会　様
真宗大谷派 正応寺　様（松江市中原町）
中浦食品株式会社　様
一心寺　様（大阪市天王寺区）
新和設備工業株式会社　様
一般財団法人 ごうぎん財団　様
島根日産自動車株式会社　様
株式会社 島根銀行　様
宗教法人 慈眼寺　様（出雲市今市町）
宗教法人 妙法院　様（京都市東山区）
真宗大谷派 永泉寺　様（松江市寺町）
浄土真宗本願寺派　様（京都市下京区）
山陰中央テレビジョン放送株式会社 様
株式会社 ユニコン　様
株式会社ウエヤマ　様
まるなか建設株式会社　様
株式会社ウッドスタイル　様
宗教法人 宗玄寺　様（出雲市斐川町）
正善院　様（鳥取県東伯郡）
禅定寺　様（雲南市三刀屋町）
天台宗山陰教区　様（出雲市別所町）
円城寺　様（大田市三瓶町）
総本山 仁和寺　様（京都市右京区）

【中村元東洋思想文化賞のご協賛企業】

山陰酸素工業株式会社　様
堀田石油株式会社　様
美保テクノス株式会社　様
一般財団法人 ごうぎん財団　様

ご寄付の方法については、
こちらをご覧ください。